

南三陸

平成23年

No. 67

9月号

2011年9月1日発行

未来のために
心はひとつ

無料送迎バスをご利用ください

当日は、各地区からベイサイドアリーナまでの無料送迎バスを運行します。乗車は先着順となりますので、ご了承ください。なお、慰霊祭の終了時間は午前11時30分頃を予定しており、お帰りの際も送迎バスをご利用いただけます。

無料送迎バスの出発時刻

志津川方面

- ①志津川中学校 (9:00) ②志津川高校 (9:00) ③志津川小学校体育館前 (9:00)
④中瀬町仮設住宅 (9:00) ⑤保呂毛生活センター (9:00) ⇒ 田尻畑仮設住宅 (9:05)

荒砥方面

- ①荒砥漁港 (9:10) ⇒ 荒砥保育園 (9:15) ⇒ 平磯生活センター (9:17) ⇒ 袖浜生活センター (9:20)

歌津方面

- ①港仮設住宅 (8:50) ⇒ 田の浦仮設住宅 (9:00)
②泊浜1期仮設住宅 (8:50) ⇒ 泊浜生活センター (8:53) ⇒ 泊浜2期仮設住宅 (8:55) ⇒ 馬場中山生活センター (9:00)
③名足仮設住宅 (8:50) ⇒ 名足コミュニティセンター (8:55) ⇒ 柘沢仮設住宅 (9:00)
④平成の森 (9:00) ⑤吉野沢団地 (9:00) ⑥歌津中学校 (9:00)
⑦館浜仮設住宅 (8:50) ⇒ 平成の森 (9:00)
⑧つつじ苑入口 (9:10) ⇒ 菰の浜農村公園入口 (9:15) ⇒ 細浦入口バス停 (9:20)

戸倉方面

- ①西戸仮設住宅 (9:00) ⇒ 林バス停 (9:10) ⇒ 大久保Msフラワー前 (9:12)
②神割崎キャンプ場入口 (8:40) ⇒ 津の宮仮設住宅 (9:00) ⇒ 波伝谷下バス停 (9:10)
③志津川自然の家 (9:00) ④水戸辺仮設住宅 (9:05) ⇒ 戸倉中学校 (9:15)

入谷方面

- ①入谷さんさん館 (8:50) ⇒ 熊田橋 (9:00) ②入谷小学校 (9:10) ⇒ 桜沢生活センター (9:15)
③岩沢仮設住宅 (9:00) ⇒ 水口沢生活センター (9:05)

登米市方面

- ①南方イオン跡地仮設住宅 (8:30) ②津山若者総合体育館 (8:40) ⇒ 横山幼稚園跡地仮設住宅 (9:00)
③横山駅前 (9:00) ⇒ ホテル観洋 (9:15)

- ・警報発令時や荒天などで中止する場合は、南三陸災害FMの放送などでお知らせします。
- ・参列時の服装に指定はございません。
- ・無宗教形式で実施します。
- ・香料、供花、供物等のご辞退いたします。また、献花用の花は南三陸町で用意します。
- ・車で来場する方は、ベイサイドアリーナの駐車場をご利用ください。
※駐車スペースに限りがあります。なるべく乗り合わせなどでご来場いただきますようご協力をお願いします。

このたびの震災により犠牲となられた方々のご家族に対し、個別にご案内をすべきところではありますが、現在、対象となる方々を特定することが困難な状況となっております。そのため、大変恐縮ではございますが、町広報紙を通じて、ご遺族並びに関係者の皆様に対し、ご案内をさせていただきますので、何卒ご理解を賜りたいと存じます。

南三陸町では、東日本大震災で犠牲になられた方々の御霊をお慰めするとともに、新しい南三陸町として復旧、再生、発展を遂げていく決意を新たにすため、下記により東日本大震災犠牲者南三陸町慰霊祭を執り行います。

ご多用中とは存じますが、ご遺族並びに関係者の皆様にかかれましては、ご参列賜りますよう謹んでご案内申し上げます。

平成二十三年九月一日

南三陸町長 佐藤 仁

記

1 日 時 平成23年9月11日(日) 午前10時開式
(午前9時開場)

2 場 所 南三陸町総合体育館(ベイサイドアリーナ)
南三陸町志津川字沼田56番地

平成23年度 集団健康診査日程表

月 日	受付時間	会 場	対象地区（地区内の仮設住宅を含む）
10月2日(日)	午前9時30分～11時	上 沢 集 会 所	払川、上沢、樋の口、中在、石泉、蕨の浜
10月3日(月)	午前9時30分～11時	平成の森アリーナ	港、田の浦、石浜、名足、中山、馬場、泊浜
	午後1時～2時30分		
10月4日(火)	午前9時30分～11時	平成の森アリーナ	館浜、伊里前下
	午後1時～2時30分		
10月5日(水)	午前9時30分～11時	平成の森アリーナ	伊里前上、寄木
	午後1時～2時30分		
10月6日(木)	午前9時30分～11時	志津川自然の家	戸倉地区全域
	午後1時～2時30分		
10月7日(金)	午前9時30分～11時	登米市津山公民館	登米市横山・津山地区内の仮設住宅及び周辺に居住の町民
	午後1時～2時30分		
10月11日(火)	午前9時30分～11時	南方イオン跡地仮設住宅地内	南方イオン跡地仮設住宅及び周辺に居住の町民
	午後1時～2時30分		
10月12日(水)	午前9時30分～11時	入 谷 公 民 館	入谷地区全域
	午後1時～2時30分		
10月13日(木)	午前9時30分～11時	ベイサイドアリーナ	林、大久保、中瀬町、上保呂毛、下保呂毛、田尻畑、中瀬町、廻館
	午後1時～2時30分		
10月14日(金)	午前9時30分～11時	ベイサイドアリーナ	旭ヶ丘、小森、八幡町、五の一、五の二、汐見、南町、十の一、十の二、
	午後1時～2時30分		
10月16日(日)	午前9時30分～11時	ベイサイドアリーナ	本浜、大森第1、大森第2、天王前、新井田
10月17日(月)	午前9時30分～11時	ベイサイドアリーナ	沼田、袖浜、荒西、荒東、平西、平東
	午後1時～2時30分		
10月18日(火)	午前9時30分～11時	ベイサイドアリーナ	西田、細浦、清水浜、大上坊、米広、上記日程で受診できなかった方
	午後1時～2時30分		

問い合わせ

- 国民健康保険及び後期高齢者医療保険の方の受診票に関する問い合わせ
町民税務課医療給付係 ☎46-1373
- 健診の内容・日程・健診の受け方に関する問い合わせ
保健福祉課健康増進係 ☎46-5113

健診を受けましょう

10月2日(日)から、平成23年度の集団健康診査が始まります。健診は、目に見えない体の状態や変化を知る良い機会です。健康状態や生活習慣を見直し、健康づくりに役立てましょう！

- ◆対 象 者 南三陸町に住所がある方
- ◆期 間・会 場 平成23年10月2日(日)から10月18日(火)まで
※会場は、左ページの日程表でご確認ください。
- ◆自己負担金の免除 健診の自己負担金は、一部負担金等免除証明書を提示することにより免除になります。



項 目	自己負担金	対 象 者	対象生年月日	
循環器検診	1,000円	16歳から39歳の方	昭和47年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた方	
特定健診	1,500円	国民健康保険及び社会保険加入の被扶養者で、40歳から74歳の方	昭和12年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた方	
後期高齢者健康診査	無 料	75歳以上の方	昭和12年4月1日までに生まれた方	
前立腺がん検診	1,000円	50歳以上の男性の希望者	昭和37年4月1日までに生まれた方	
肝炎ウイルス検査	800円	40歳以上の方で、これまでに肝炎ウイルス検査を受けたことがない希望者	昭和47年4月1日までに生まれた方	
結核検診	無 料	65歳以上の方	昭和22年4月1日までに生まれた方	
肺がん検診	レントゲン検査	500円	40歳から64歳までの方	昭和22年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた方
	かくたん 喀痰検査	1,100円	40歳以上の希望者	昭和47年4月1日までに生まれた方

民間賃貸住宅の借り上げによる応急仮設住宅の申請

町では、東日本大震災の被災者に対して、宮城県が民間賃貸住宅を借り上げ、応急仮設住宅として被災者に提供する制度を実施しています。制度の活用を希望する方は建設課まで申し込みください。

対象者

- 次の要件をすべて満たしている必要があります。
- ・東日本大震災による被災を受け、居住する住家がない方
 - ・自己の資力では住宅を確保することが困難な方
 - ・半壊以上のり災証明書をお持ちの方
 - ・他の仮設住宅（民間賃貸住宅借り上げを含む）への申し込み、入居をしていない方
 - ・住宅の応急修理制度の申し込みをしていない方

対象となる民間賃貸住宅

宮城県内の民間賃貸住宅で、貸主が宮城県を借主とする三者契約に同意していることが必要です。なお、次の表のとおり、住宅の間取りに対して入居世帯員数や月額賃料の条件があります。

間取り	入居世帯員数	月額賃料
1K	1人	32,000円
1DK	1～2人	42,000円
2K	2人	45,000円
2DK	2～3人	48,000円
2LDK	2～4人	68,000円
3DK	4人	57,000円
3LDK	4人以上	69,000円

受付期限

平成23年9月30日(金)まで


問い合わせ 建設課建設総務係
☎46-1377

臨時職員任用候補者募集

町では、次のとおり臨時職員（保育士）としての任用候補者を募集します。なお、採用は、採用の必要が生じた際に、登録者の中から決定します。

◆職種（募集人員） 保育士（2名）、指導員（3名）

◆職務の内容 子育て支援センターでの保育



育補助業務

放課後児童クラブでの保育補助業務

◆勤務時間 5時間

◆賃金
・有資格者：時給840円
・無資格者：時給720円

◆有給休暇 なし

◆登録方法 事前に電話連絡のうえ、保健福祉課子ども家庭係に備え付けの申請書を提出してください。

問い合わせ 保健福祉課
子ども家庭係
☎46-2601

医療費助成受給者証の更新手続き

乳幼児・母子父子家庭・心身障害者医療費助成を受けている方の受給者証の有効期限は、平成23年9月30日(金)までとなっております。受給資格を確認するための更新手続きが必要です。対象となる方には通知しますので、忘れずにご手続きをお願いします。


問い合わせ 町民税務課
医療給付係
☎46-1373

子育て支援センター再開

子育て支援センターでは、お子さんや家族の皆さん、そして、もうすぐママになる妊婦さんを対象に、育児相談や子育て情報を提供します。安心して楽しく親子で遊べますので、気軽にご利用ください。


◇開始日 9月12日(月)
◇場所 志津川小学校敷地内「児童館」
◇利用時間 午前10時から午後2時まで
※相談は秘密厳守です。事前に電話予約のうえご利用ください。

問い合わせ 志津川保育所(担当 及川) ☎46-3679



春の叙勲


平成23年春の叙勲が発表され、南三陸町から2名の方が受章されました。



瑞宝双光章
【教育功勞】

勝倉彌司夫 氏
(◎五日町)

勝倉さんは、昭和37年に小原木中学校を初任地として教諭としての道を歩みだし、平成6年に定年を迎えるまでの約32年間にわたり、教育振興にご尽力されました。当町では、入谷中学校教諭、志津川中学校教頭、志津川小学校校長、志津川中学校校長を歴任し、平成8年からの約6年間は、志津川町教育委員会教育長として、その人柄と信頼を基に抜群の指導力を発揮されました。



瑞宝単光章
【統計調査功勞】

小野寺達雄 氏
(◎岩沢)

小野寺さんは、昭和22年に宮城県農業基本調査に従事して以来、50年間で50回の各種統計調査（国勢調査、農林業センサス等）に従事されました。調査の重要性を深く認識し、常に迅速かつ正確な調査に努められ、また、後進の統計調査員への助言や指導を行い、統計制度の普及発展に寄与されました。

住宅の応急修理制度をご利用ください

町では、東日本大震災により全壊、大規模半壊または半壊した住宅を対象に、町が業者へ依頼して一定の範囲内で応急修理を行う制度を実施しています。制度の活用を希望する方は、建設課まで申し込みください。

対象世帯

次のすべての要件を満たす世帯が対象となります。

- ・東日本大震災により住宅が半壊以上の被害を受けた世帯。
- ・応急仮設住宅（民間賃貸住宅借上げを含む）への申し込み、入居をしていない世帯。

所得制限

◆全壊または大規模半壊の住宅 所得制限はありません。

◆半壊の住宅 平成21年の世帯全体の年収が、次のいずれかに該当する世帯が対象です。

- ・世帯全体の年収が500万円以下の世帯
- ・世帯全体の年収が500万円超、700万円以下で、かつ、世帯主が45歳以上または要援護世帯
- ・世帯全体の年収が700万円超、800万円以下で、かつ、世帯主が60歳以上または要援護世帯

応急修理の内容

住宅の応急修理は、居室、炊事場、トイレ等の日常生活に欠くことのできない部分であって、より緊急を要する箇所を優先して実施します。緊急度の優先順は次のとおりです。

- ①屋根、柱、床、外壁、基礎等
- ②ドア、窓等の開口部
- ③水道、電気、ガス等の配管・配線
- ④衛生設備

※地震、津波の被害と直接関係のある修理のみが対象です。

※内装に関するものや家電製品は、原則として対象外です。

限度額

- ・一世帯あたりの限度額は52万円です。
- ・同一世帯（1戸）に2つ以上の世帯が居住している場合でも、一世帯あたりの限度額以内となります。

受付期限

平成23年9月30日(金)まで

問い合わせ 建設課施設整備係
☎46-1377



東日本大震災後、深い爪痕を残す南三陸町には、両陛下をはじめ大勢の著名人が訪れ、被災された町民の皆さんを励ましてくれました。これまでお越しいただいた方々の一部を紹介したいと思います。



2011/04/10 九重親方
清原和博さん



2011/04/10 布袋寅泰さん



2011/04/14 アグネス・チャンさん



2011/04/17 さかなくん



2011/04/30 エグザイルの皆さん



2011/05/14 朝青龍さん



2011/05/27 ゴスペラーズの皆さん



2011/06/06 日本大相撲協会の皆さん



2011/06/26 サンブライザ中野くん



平成23年4月27日(水) 歌津中学校
天皇、皇后両陛下



2011/07/09 AKB48の皆さん



2011/07/12 渡辺謙さん
南果歩さん



2011/07/16 お母さんと一緒の皆さん



2011/07/21 佐藤健さん



2011/07/24 明石家さんまさん ほか



2011/08/10 劇団四季の皆さん



介護保険サービス 利用料の還付請求

東日本大震災で被災し、介護保険サービス利用料の減免認定を受けた方のうち、利用料の個人負担分を支払っている場合は、申請により支払った個人負担分を還付します。

- ◇申請受付日 9月12日(月)から随時
- ◇受付場所 保健福祉課高齢者福祉係
- ◇持ち物
 - ・支払いした個人負担分の領収書
 - ・還付金の振込口座(本人名義)が分かるもの

問い合わせ

保健福祉課高齢者福祉係 ☎46-2601

要介護認定を 受けている方へ

現在、要介護認定を受けている方で、平成23年3月11日から平成24年3月31日までに有効期間が満了する方については、その有効期間を最大で12カ月延長します。また、要介護の状態に変化がみられる場合には、区分変更の申請をすることも可能です。詳しくは、担当のケアマネージャーまたは保健福祉課高齢者福祉係へお問い合わせください。

問い合わせ

保健福祉課高齢者福祉係 ☎46-2601

発電機などの返却を お忘れではないですか？

町では、東日本大震災の直後から、各避難所などに生活用備品として発電機や投光機を貸し出しいたしました。避難所として使用しなくなった施設のうち、まだ発電機等を返却していないところが見受けられます。

お手数をお掛けしますが、至急、総務課財産管理係まで返却されますようお願いいたします。

問い合わせ

総務課財産管理係 ☎46-1370

思い出の写真をお返しします

「セーブ・ザ・メモリープロジェクト」

南三陸町社会福祉協議会では、町内で発見された写真を洗浄し、持ち主にお返ししています。ぜひ、思い出の写真を探しに来てください。

◇開催期間

平成23年9月6日(火)から平成24年3月31日(土)
※9月から10月末までは、土日を含め毎日開催しますが、

11月以降については、土日をお休みする予定です。決まり次第、広報紙等でお知らせします。

◇開催時間

午前9時から午後4時まで

◇場所

南三陸町災害ボランティアセンター(ベイサイドアリーナ駐車場)

◇写真を探す方法

パソコンの画面で、簡単に写真を探すことができます。専門のスタッフがサポートしますので、パソコンに詳しくない人でも安心です。※持ち主には、写真原本のほかに電子データもお渡しすることが可能です。

問い合わせ

南三陸町社会福祉協議会 ☎46-4088

無料法律相談

仙台弁護士会所属の弁護士が来町し、無料法律相談を実施します。震災によるトラブルや困りごとの相談に応じますので、気軽にご相談ください。

◇場所・日時

【ベイサイドアリーナ】

9月5日(月)、9月20日(火)
午前10時30分～午後3時

【平成の森】

9月12日(月)、9月26日(月)
午前10時30分～午後3時

※予約は不要です。直接会場へお越しください。



問い合わせ 保健福祉課社会福祉係 ☎46-2601

子宮頸がん予防 ワクチン接種について

◇初回接種の全面再開

子宮頸がん予防ワクチン接種については、ワクチンの全国的な供給不足により、初回接種の差し控えをお願いしてきましたが、7月20日から全対象者の初回接種が再開されています。

◇対象者

中学1年生から高校1年生
相当年齢(平成7年4月2日から平成11年4月1日生まれ)の女子

◇接種費用の助成

今年度の子宮頸がん予防ワクチン接種費用の助成期限は、平成24年3月31日までです。このワクチンは3回の接種が必要であり、初回から最終接種まで6カ月を要します。ワクチン接種を希望する方は、お早めに接種を受けることをお勧めします。

※現在、高校2年生相当で、平成22年度にワクチン不足により初回接種ができなかつ

た方については、平成23年9月末日までに初回接種を開始した場合に、接種費用の助成を行います。

予防接種を 受けるときのお願

予防接種を受けるときは、忘れずに母子手帳と問診票をお持ちください。母子手帳と問診票を紛失した方は、保健福祉課で再発行いたします。なお、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌予防ワクチン、その他の任意予防接種の問診票は、各医療機関に備え付けてありますので、予約の際にご確認ください。

問い合わせ

保健福祉課健康増進係 ☎46-5113

被災された産婦さんへ

(財)家族教会国際協力財団からの義援金支給

東日本大震災で被災された岩手県、宮城県、福島県の産婦に対して、(財)家族教会国際協力財団(ジョイセフ)から、義援金が支給されます。対象者の方は、ジョイセフに直接申込みください。

ジョイセフとは

ジョイセフは、途上国の妊産婦と女性を守るため、世界各地で活動している財団法人です。

◇対象者

- 次のすべての要件を満たしている方
- 被災時に岩手県、宮城県、福島県に住民票があった方
- 居住する家屋が全壊、大規模半壊及び半壊した方または警戒区域に居住していた方
- 平成23年3月1日から12月31日までに出産した方

◇支給金額 一人あたり50,000円

◇申請方法

次の書類をジョイセフに送付してください。なお、郵送のみの受付となります。

- ・り災証明書
- ・住民票謄本(世帯構成が分かる書類)
- ・母子健康手帳の出生届済証明(公印付)のコピー
- ・義援金申請書

※申請書は、保健福祉課健康増進係に備え付けしてあるほか、ジョイセフのホームページからもダウンロードすることができます。

◇申込期限 平成24年2月29日(必着)

※ただし、義援金の資金が終了した場合は、支給を早期に締め切ることもありますので、ご了承ください。

申し込み・ 問い合わせ

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館
国際協力NGOジョイセフ「ケショ」担当 宛
☎03-3268-3172 Fax. 03-3235-9776 Eメール. kesho@joicfp.or.jp
http://www.joicfp.or.jp/jp/tohoku_earth_quake/tohoku_how/kesho/

小学生国内交流事業in庄内町



8月9日(火)から8月11日(木)までの3日間、庄内町の「大中島自然ふれあい館森森」を主会場として、今回で19回目を迎える南三陸町と庄内町の小学生国内交流事業が行われました。南三陸町からは42人、庄内町からは24人の小学5～6年生が参加し、両町の中高校生ボランティア8人

を含めて、総勢74人が夏休みの思い出にと楽しく交流を行いました。

はじめて会う友達の前で少し緊張気味の子どもたちでしたが、1日目の野外炊飯でのカレー作りやテント設営、2日目の羽黒古道登山やバーベキューと、さまざまな体験をしていくうちにお互いの距離がどんどん縮まり、3日目のカート体験を終えて南三陸町へ帰るときには、「せっかく友達になったのに…」と別れを惜しむ声も聞かれました。「来年は南三陸町に行くね!」「また会う日まで元気でね!」と再会を誓い合い、この夏の交流事業を終えました。



復興に向かって ①

今月から始まったこのコーナーは、復興に向けた町の取組みを分かりやすく解説していく連載です。まず始めに、現行制度における住まいの高台移転の手法と大切なポイントとを、今月と来月の2回にわたって紹介します。

高台移転の事業手法

高台移転には、土地区画整理と防災集団移転促進の二通りの国庫補助事業があります。今回は、主に漁業集落で行われる「防災集団移転促進事業」のポイントを説明します。

防災集団移転促進事業とは

被災区域等、住民の居住に適当でないと思われる区域内にある住居の集団的移転を行う事業であり、市町村が事業主体となります。この事業では、移転する土地の取得や造成、道路や水道の敷設につ

地域として気を付けることは

防災集団移転促進事業において、最も重要なのは地域の合意形成です。なぜならば、この事業の場合、その地域の被災世帯の半分以上の世帯が参加し、かつ、参加世帯が10軒以上であることが条件となっているからです。現在、町内でも、地域主体で話し合いを

いて、国の補助を用いて行うことができます。

北海道南西沖地震の際の奥尻町や新潟県中越地震の際の川口町など、多くの被災地の復興で活用されています。

夢大使 リレー通信 57



各地で活躍する南三陸町夢大使の皆さんの声をお届けする「夢大使リレー通信」を連載しています。今回は、在仙歌津会会長を務める、株式会社宮津取締役会長の及川龍治さんです。

夢大使 及川龍治さん (宮城県仙台市)

お見舞い申し上げます

平成23年3月11日午後2時46分、東日本を襲った大地震は、多くの人に甚大な被害をもたらしました。津波で尊い命や大切な物を一瞬にして失くしてしまつた多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。私も自宅が全壊してしまい被災者の一人となりました。このような大惨事に見舞われた南三陸町のため、「夢大使」として私に何ができるのか、ラジオを聞きながら、ため息しか出ない日々を過ごしました。私は長年、全国建築物飲料水協会理事及び宮城県支部

長を兼任しています。この災害時に生命線となる水の管理に関することならお役に立てるのではないかと思います。さっそく南三陸町の水道事業所の方などにお話をいたしました。南三陸町は、井戸水を普段の生活の中に取り入れています。このたびの津波により、油や海水等が混入した井戸水は汚水となり、人体にとつてかなり危険なものだと思われま

す。しかし、残念ながら、担当の方々からは私の提案には耳を貸してもらえず、とても残念ですが、町として一日も早く、復興をしなければならぬことが山積している中では、仕方が無いことであつたと理解しております。そのような中、私が経営する東鳴子温泉のホテルに、送迎昼食付で日帰り入浴のサービスを提供させていただきました。1日60名、延べ1,000名の方に利用していただきました。また、4月20日からは、被災者約50名の宿泊の受入れも開始いたしました。7月末で全員仮設住宅に入居予定となり、私の任務も一つ終わり多少安堵しております。これから町の復興には、相



進め、事業実施に向けて動き出している地区もあります。また「○○地区の▲▲に移転可能な土地がある。」といった情報をお寄せいただくことも大切な事項です。

もっと詳しく知りたいときは

町では、地域の要望に応じて、説明等に向向しています。話を聞いてみたいという地域がありましたら、震災復興推進課まで問い合わせください。

問い合わせ 震災復興推進課 ☎46-13371

観光ネット 最前線 25

3.11あの瞬間を忘れない ～被災地からの発信～

東日本大震災から、まもなく6カ月が経とうとしています。その間、町と観光協会では、ガイドサークル「汐風」の皆さんのご協力のもと、この震災を語り継ぐ活動を行ってきました。震災の爪痕は深く、置かれている環境も様々です。全国の皆さんから心温まる支援を受け、復旧・復興に向けて歩き始めた私たちが今世界に向けて発信すべきことは、南三陸町が南三陸町らしく復興する姿だと思います。



復興市での語り部講座

ガイドサークル「汐風」では、この震災を語り継ぐ活動を私達と一緒に取り組んでくださる町民の方やお話を聞かせただけの方の輪を広げていく予定です。復興に向けた取組みの一環として、一緒に活動してみませんか?

問い合わせ 産業振興課商工観光振興係 ☎46-1378 一般社団法人南三陸町観光協会 ☎47-2550

戸籍の窓

7月1日から7月31日届出分

敬称略
※「戸籍の窓」は届出者の掲載希望の確認をとり掲載しています。希望しない場合は掲載していません。また、東日本大震災によりお亡くなりになった方につきましても掲載していませんのでご了承ください。

ご結婚おめでとう

行政区	氏名	どちらから
伊里前下	浅野 博紀	
	三浦 真由子(伊里前下)	
田の浦	三浦 和也	
	渡邊 詩織(福島県福島市)	
沼田	鈴木 一也	
	及川 美由希(天王前)	
大久保	遠藤 翔	
	千田 有沙(気仙沼市)	
田の浦	千葉 直彦	
	猪股 智美(気仙沼市)	

お誕生おめでとう

行政区	なまえ	保護者
八幡町	水原 莉乃音(哲也・奈菜実)	
泊浜	阿部 涼海(菜々)	
保呂毛	遠藤 悠太郎(君男・佳代)	

お悔やみ (年齢は満年齢)

行政区	氏名	年齢
名足	三浦 善三郎	85歳
港	千葉 隆夫	58歳
伊里前上	小沢 とも子	86歳
本浜	久保田 みやこ	84歳
中在	小野 精一	93歳
滝浜	後藤 トシ子	85歳
十区	山内 とらよ	92歳

人口のうごき

7月末	男	女	計	世帯数	出生	死亡
現在	7,740	7,990	15,739	4,912	4	135
前月比	-124	-153	-277	-57	-1	+89

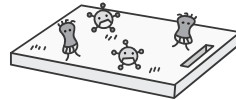


食中毒に気をつけましょう

気温が高い今の時期は、食中毒の原因となる細菌が繁殖しやすくなるため、注意が必要です。食品の保存や管理を徹底し、次のことに注意して食中毒予防に努めましょう。

食中毒菌を

- ★つけない：食品に菌をつけないために、手や調理器具はしっかり洗いましょう。
- ★増やさない：食品の温度管理に気をつけて、早めに食べましょう。
- ★やっつける：ほとんどの菌は熱に弱いので、食品は十分に加熱しましょう。



◇問 保健福祉課健康増進係 ☎46-5113

9月の保健センター行事

保健福祉課健康増進係 ☎46-5113

保健行事	開催日	受付時間	会場	対象者など
3カ月児健康診査	5日(月)	昼12時45分～	志津川小学校内 あおぞら教室	平成23年5月生まれと前回健診を受けていないお子さん(全地区対象)
2歳6カ月児歯科健康診査	9日(金)	昼12時30分～	志津川小学校内 あおぞら教室	平成20年12月から平成21年1月生まれと前回健診を受けていないお子さん(志津川地区対象)
1歳6カ月児健康診査	14日(水)	昼12時30分～	志津川小学校内 あおぞら教室	平成22年1月から平成22年2月生まれと前回健診を受けていないお子さん(全地区対象)
母子手帳交付	毎週月曜日 ※祝日を除く	午前9時～ ～昼12時	役場仮庁舎内 保健福祉課	※印鑑を持参してください ※歌津総合支所仮事務所での交付を希望する方は、事前に保健福祉課までご連絡ください

公立南三陸診療所外来案内

公立南三陸診療所 ☎46-3646

	月	火	水	木	金
内科・歯科	○	○	○	○	○
循環器内科		○			○
外科	○		○		○
整形外科		○	○	○	
小児科(午後は予防接種等)	○		○		○
耳鼻科(午前のみ)		○		○	
眼科(午前のみ)	○			○	
泌尿器科・皮膚科(午前のみ)					○

◇場所：ベイサイドアリーナ駐車場

◇診療受付時間：午前の部 午前8時30分から11時
午後の部 午後2時から4時

米寿の顔

※このコーナーでは、町から敬老祝いが贈られた方々を紹介いたします。
(南三陸町敬老祝い金条例に基づき、満87歳(数え88歳)の誕生日を迎えた方々が対象です。)

⑧ 高橋ひな子 (大正13年4月10日生)	⑩ 元木とし子 (大正13年4月12日生)			
⑨ 及川くらよ (大正13年4月14日生)	⑤ 阿部タミコ (大正13年4月18日生)	① 阿部 義雄 (大正13年4月19日生)	④ 首藤カチノ (大正13年4月22日生)	③ 及川みさ子 (大正13年4月23日生)
⑦ 佐藤 長七 (大正13年4月27日生)	⑥ 山内 昇 (大正13年4月28日生)	② 遠藤つかよ (大正13年5月7日生)	⑧ 渡邊つはぎ (大正13年5月10日生)	④ 阿部 蚕司 (大正13年6月13日生)
⑥ 阿部 とよ (大正13年6月20日生)	③ 高橋 徳次 (大正13年7月8日生)	⑤ 千葉やす子 (大正13年7月20日生)	⑦ 山内とよ子 (大正13年7月26日生)	② 阿部もと子 (大正13年7月31日生)

虫歯のない子

6月27日(月)と7月27日(水)に実施した3歳児健康診査で、虫歯のなかったよい子たちを紹介します。

⑥ 浅野 心愛ちゃん	⑩ 阿部 琴乃ちゃん	⑧ 阿部 結花ちゃん	④ 及川 美広ちゃん	⑨ 小野寺 冴門くん	⑦ 小野寺 莉那ちゃん
⑤ 西城 光瑛くん	③ 佐藤 安志くん	② 佐藤 くるみちゃん	① 佐藤 希ちゃん	⑧ 三條 結愛ちゃん	⑥ 須藤 慧士くん
④ 高橋 劉和くん					

あの日あのとき ①

このコーナーは、東日本大震災が発生した当時の様子などを皆さんにお聞きして連載していくコーナーです。今回は、南三陸災害FM（愛称：FMみなさん）のスタッフとして活躍されている工藤浩典さんに話を聞きました。



工藤 浩典さん
(☎十日町)

震災当時

私は、石巻市で仕事をしており、地震が発生したときは車を運転している最中でした。突然大きな揺れを感じ、急いで車を止めました。今までにないくらい大きな揺れだったので、実家の母親が心配になりましたが、すぐに南三陸町へ向かいましたが、戸倉の荒町から向こうへは立ち入りできないとのこと、車の中で一晩過ごし、翌日に歩いて実家がある十日町へ行きました。途中、言葉では言い表せないほどの無残な光景が目に入り、現実を受け止めるのに時間がかかりました。また、実家の母親の安否についても、この状況から半分はあきらめていたように思います。実家が建っていたところには何も残っていませんでしたが、何力所かの避難所を訪ね、志津川中学校で母親と再会することができました。



震災後の生活

震災後は、志津川中学校で避難生活を送りました。救援物資の搬入や避難所の雑用のほか、在宅避難者へ物資を届けたりして毎日を通し、気がつくときが暮れていました。昼間は夢中で体を動かしていたのであまり感じませんでしたが、夜になると気温が下がり、体育館のカーテンなどにくるまって寒さをしのいでいました。食べ物や着る物も不足していましたが、あの寒さだけは今でも忘れられません。まもなく、自衛隊の方がかけつけてくれ、炊き出しや道路の補修など、私たちのために一生懸命働いてくれたおかげで、安心して生活することができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからの私

今後のことは、考えなくてはならないことがいっぱいありすぎるので、あまり考えないようにしています。国や行政による復興の方向性が決まってからじっくり考えたいと思います。また、今は南三陸町のFM放送の仕事をさせていただいているので、町民の皆さんの声をたくさん聞いて、それを役場の人に伝えるパイプ役としても頑張っていきたいと思うし、南三陸町ならではのFM局として、地域に密着した情報を伝えていきたいと思っています。

これまで連載してきた「水中楽園」については、しばらくの間休載いたします。

編集後記

▶ 8月5日(金)、陸上自衛隊第6師団第22普通科連隊の撤収セレモニーにおいて、連隊長の國友昭さんがこう言いました。「町民の皆さんが心の底からの笑顔を取り戻せるよう頑張ってください。」▶ 東日本大震災では、あまりにも多くの尊い命が失われました。また、行方のしれない方々の消息も未だ判明しておらず、ご家族や関係者の悲しみは、いかばかりかと思えます。そんな中、広報紙を通常どおりに戻すことについては、多少なりともためらいがありました。海の写真を掲載するのは…。笑顔の写真を掲載するのは…。でも、南三陸町が復興するためには、海も笑顔も必要不可欠なものです。活字だけで情報を詰め込むよりも、広報紙を読んでもくれた人が「ほっ」と安心して発行していきたいと思えます。そして、國友連隊長が言った「心の底からの笑顔」を皆さんが取り戻せるよう、少しでもお手伝いできれば幸いです。 担当 加藤

わが家のアイドル



あやみちゃん
勝倉 綺海

(☎本浜)

平成22年11月29日生まれ

パパ 秀一さん

ママ みなさん

おうちの方から一言

健康で明るく元気に育ってほしいです。